



日本原子力学会・炉物理部会

炉物理部会ニュース (No.5)

1996年12月25日発行

目次

- 1. 「第6回 炉物理部会」総会報告 1
- 2. 国際会議の案内 3

1. 「第6回 炉物理部会」総会報告

第6回「炉物理部会」総会が、東北大学工学部で開催の「原子力学会1996年秋の大会」の初日（平成8年9月23日）に開かれた。当日の主な議事、報告事項を以下にまとめる。

1-1 平成8年度運営委員の変更

平成8年度運営委員の一部に変更が生じたので、その報告があった。変更は、以下の通りである。

部会長	(上半期)	原 研	土橋 敬一郎
副部会長	(1年)	東北大	平川直弘 (下半期は、会長兼務)
編集小委員会	(2年)	原 研	岡嶋 成晃

1-2 学術研究交流小委員会

(1) (土橋敬一郎／原研)

炉物理国際会議 PHYSOR96 (平成8年9月16～20日、水戸プラザホテルで開催) についての報告が行われた。会議には、25カ国 305名の参加があり、228件の発表 (口頭発表: 132件、ポスター: 96件) があった。また、国内からの参加者に対して、会議で発表された論文の欧文誌への投稿勧誘が、行われた。

(2) (竹田敏一／阪大)

「学会発表では時間の制約から、活発な討議を行えない場合がある。そこで、特定のテーマについて、質疑応答をもっと活発に行えるような場を設けて欲しい」との要望があった。この要望に応えるべく、学会における「炉物理・核データ合同会合」を、シグマ委員会と連絡調整して見直していくことが確認された。

1-3 炉物理夏期セミナー（若林利男/動燃）

第28回炉物理夏期セミナー（平成8年7月29～31日、茨城県 いこいの村瀬沼で開催）について報告が行われた。セミナーには85名の参加があり、「炉心設計解析コードの現状と高度化」、「新しい炉心概念の創出にむけて」の2つのテーマに関して12人の講師による講演が行われ、活発な討議が行われた。

1-4 編集小委員会（岡嶋成晃/原研）

部会報「炉物理の研究」第45号は4月に、部会ニュースNo.4を5月に発行した。

1-5 学生・若手小委員会（安藤真樹/原研）

夏期セミナーにおいて、若手研究者発表会が開催され、活発な議論が行われた。

1-6 学会委員会からの報告

(1) 企画委員会（相沢乙彦/武蔵工大）

学会予稿の締め切りについて、締め切り日必着を厳守するようにした。今後この方針で臨むことが報告された（締め切り日及び必着については、申し込み用紙に明記）。

(2) 編集委員会（岩崎智彦/東北大）

学会誌への論文投稿が少ないので、多数の投稿を期待する。

和文誌平成9年1月号に特集記事「核計算法の研究成果と炉心設計法の進歩」を掲載予定である。

1-7 平成9年度運営委員候補者の紹介

平成9年度運営委員候補者が予め部会員に周知された。以下に候補者（敬称略）を示す。なお、括弧内は予定任期である。

部会長	(1年)	東北大	平川直弘
副部会長	(1年)	北大	成田正邦
庶務幹事	(1年)	東北大	岩崎智彦
財務小委員会	(1年)	三菱重工	佐々木誠(留任)
	(2年)	九大	工藤和彦
編集小委員会	(1年)	原研	岡嶋成晃(留任)
	(2年)	日立	丸山博見
セミナー小委員会	(1年)	北大	鬼柳善明
	(1年)	北大	秋本正
学術研究交流小委員会	(1年)	原研	中川正幸(留任)
	(2年)	京大	小林啓祐
学生・若手小委員会	(1年)	三菱重工	木村純(留任)
	(2年)	阪大	北田孝典

1-8 庶務幹事（相沢乙彦/日立）

部会内でのE-Mailネットワークを構築して、連絡等の効率化を図る。そこで、各会員のE-mailアドレスを庶務幹事（下記アドレス）まで連絡するように、依頼があった。

E-mail Adress : oaizawa@atom.musashi-tech.ac.jp

2. 国際会議の案内

2-1 Joint International Conference on Mathematical Methods and Supercomputing for Nuclear Applications (M&C and SNA '97)

開催日：1997年10月6日～10日、開催地：米国 Saratoga Springs, NY

共催：ANS、OECD/NEA、AESJ、BNES、CNS ほか

本会議は、ANSのMathematics and Computations division が1965年から2年毎に開催してきた topical meeting と、OECD/NEA が主催してきた Supercomputing in Nuclear Applications conferences (水戸(1990年)、Karlsruhe(1993年)にて開催) を、一つにまとめて行うものである。

トピックス

- Application of 3-D Design Methods
- Parallel & Distributed Computing
- Computational Methods on Advanced Computers
- Artificial Intelligence & Neural Networks
- Design Automation & Visualization
- Deterministic Transport Theory Methods
- Stochastic Transport Theory Methods
- Reactor Dynamics
- Reactor Physics & Analysis Methods
- Physics & Computational Methods for Advanced Reactor Concepts
- Validation of Reactor Analysis Methods
- Real Time Analysis & Plant Simulation

特別セッション (計画中)

- Benchmarks & Computer Codes (Poster Session)
- Monte Carlo Depletion Calculations
- Computational Materials Science and Applications to Nuclear Engineering
- Nonlinear Methods for Solving the Transport Eqn.
- Coupled Reactor Physics & Thermal Hydraulics Calculations
- Perturbation Theory & Validation Methods
- Methods for Parallelization of Transport & Diffusion Calculation
- Inverse and Ill-Conditioned Problems in Neutron and Radiation Transport Calculations
- Computational Methods in Medical Physics
- Methods for Ex-core Neutron Response Calcs.
- Coupled Neutron-Proton Transport Methods & Applications

申込要領

論文締切り

1997年3月15日

著者確定 1997年5月15日

本論文 (Camera-Ready) 締め切り 1997年6月15日

問合せ先:

General Chairman: M. Richard Mendelson

P.O. Box 204, Rexford, NY 12148, USA

Tel. (518) 395-7046, e-mail: mendelsonm@aol.com

Web: <http://www.rpi.edu/~wittej/ansmnc.html>

国内問合せ先: 東大 近藤駿介氏 (tel03-3812-6579)

Call for Papers は学会事務局へ 学会誌 (p.640 [38-7]) に掲載

訃報

本部会員 菊池康之氏 (原研) が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。